

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みつばち森アフタースクール		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 16日		R8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R8年 3月 16日		R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や利用者のニーズの読み取りや、個々へのサポート、必要な支援を迅速に様々なパターンで提供していること。 (不登校支援、登校支援など。利用者には無報酬で提供しています。)	利用者やご家庭の状況から、今起こっている問題や、欲しているものを汲み取りながら、日々の変化を感じ取っています。 また、提供している支援が不要になった時は、速やかに次のステップへ引き継ぐとともに、事業所内だけにとどまらず、必要な機関につなげています。	全職員と情報共有をおこない、同じ志を持って支援を提供できるよう努めています。 日々の利用者や保護者の笑顔を大切に、細やかな変化を見逃すことなく対応に努めています。
2	学校や行政、基幹センターなどの連携を図っていること。	事業所内の判断だけでなく、立場の違う観点や専門的な見解を聞きながら、広い視点を持った支援を心掛けています。すべては利用者や保護者の最善の利益のために、連携をおこなっています。	教えを乞う、拝聴する気持ちで広く専門の見解を聞いています。また、守るべき情報やこちらの的確な主張もしっかり確保しています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備	活動室が、段差を挟んで上と下に分かれているので、利便性に欠け十分な広さも確保できないことが要因と考えられる。	建物の構造上、改築することは難しいので、現状の状態を利用者の特性に応じて、活動しやすい環境に整備しています。
2	地域に向けた、事業所の行事活動。	地域の方との活動や、地域の施設を利用するなどした取り組みはおこなっていますが、地域の方を施設に招くような行事は、立地的な条件や建物の大きさ等も含めて難しく考えています。	要検討にはなりますが、他施設を借りるなどして、森独自の行事を企画していき、地域の方に事業所をたくさん知ってもらい、地域に貢献できる事業所として努めていきます。
3			